



多摩支部会報第 74 号

MEIJI UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION

新年号 2026 年 1 月 1 日発行



明大馬術部

2026
Go Forward

写真: MeijiNOW

年頭のご挨拶

多摩支部長 土屋栄一



多摩支部校友の皆様、新年あけましておめでとうございます。

平素は校友会活動に、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、今年も昨年同様静かなお正月を迎えてしまいました。

私達は、駅伝予選会に、野球、ラグビー、アメフトと走り回りました。

そしてどの競技でも、紫紺の仲間の声援が、グラウンドや沿道を染め、

「これぞ明治！」という一体感を感じられる場面ばかりでした。

もちろん、スポーツだけではなく、総会・懇親会をはじめ、各種交流イベントにも多くの皆様にご参加頂きました。校友の皆様同士が地域で繋がりあい、世代を超えて交流が深まっていくことに、改めて校友会の意義を感じております。

今年も「明治はひとつ、3Cで繋ごう多摩支部の絆」のスローガンのもと、多摩支部ならではの活動の充実を図り、母校・校友・地域がより輝く一年となるよう努めてまいります。

皆様にとって交流の場として、より身近な支部であり続けるよう、役員一同力を合わせてまいり所存です。

2026年が、皆様にとって健康で笑顔の多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



多摩支部定時総会 (6・22)



箱根駅伝予選会 (10・18)



多摩支部ゴルフ大会 (10・20)



全国校友福井大会 (9・27)



21 地域支部を知ろう (11・16)



ラグビー明大戦 (12・7)

2025 Season Slogan

完遂

M.U.R.F.C.

Vision History

「前へ」

明治大学ラグビー部の全員が大切にしている言葉。

多くの方々に愛されるラグビースタイルにくわえ、各選手の生涯の言葉として、在学中のみならず、卒業後も人生の指針となっている。

その言葉の実践と追求の歴史が遂に 100 年を迎える。

年月を重ね社会もラグビー界も変革が進む現代。

多様な働き方や新たな職業・職種の誕生。

世界を舞台に活躍する人材。

人種・性別を問わず活躍できる社会。

私たちの世界は急速に変化している。明治ラグビーのスタイルや伝統を守りつつ、

社会の変革にただ適応するだけでなく、

前へ踏み出したその先にある未来を常に見据え、

あらゆる分野で求められる人材を目指す。

私たち自身が「前へ」飛び出す。

第 101 回ラグビー明早戦に勝利～ 5 年ぶりの関東大学対抗戦優勝を飾る

体育会ラグビー部は、12 月 7 日（日）国立競技場で行われた関東大学ラグビー対抗戦 A グループの早稲田大学戦に勝利し、2020 年以来 5 年ぶりの優勝を飾った。

対抗戦は、明大が早大を 25－19 で破り、6 勝 1 敗の勝ち点 35 で 5 年振り 19 度目の優勝を飾った。前半を 10－10 で折り返した明大は後半、FL 最上のトライなどで突き放し、早大の反撃をかわして逃げ切った。対戦成績は明大の 43 勝 56 敗 2 分け。全日程を終え、明大、筑波大、早大、帝京大、慶大の上位 5 校が全国大学選手権（読売新聞後援）に出場する。

明大のラグビー部には、「前へ」という伝統の合言葉があり、試合や日常生活の中で受け継がれている。この精神を体現したようなプレーが、5 年振りの栄冠をもたらした。分かりやすい構図だった。ライバル対決に勝った方が優勝。

約 3 万 9 千人の観衆が見守る中、18－16 と明大の 2 点リードで迎えた後半 31 分、明大 FW 陣がスタンドを沸かせた。敵陣深くで、ラインアウトからモールを押し込む。ゴール手前で止められたが、ボールを持ち出した最上が力強く前進。相手に倒されながらも、勢いそのままに腕を思い切り前へ伸ばした。

「僕ではなく、チーム一丸となったトライ。FW（の強さ）が僕たちのプライドなので、そこで取れたのは収穫」と、貴重な追加点を振り返った。その後は一枚岩となった防御で、日本代表の FB 矢崎らを擁する早大の攻撃を食い止めた。

一方で大学選手権に向けて課題も見つかった。「重戦車」と評される強力 FW だが、この日はスクラムで「早大から思っていた以上に圧力をかけられた。」（神鳥監督）。主将の CTB 平が、「通過点にすぎない」と言うように、完全体を見せるのはこれからだ。

（読売新聞（2025・12・8）から転載）

□神鳥裕之監督のコメント

国立競技場という素晴らしい舞台で、多くの観客の皆さんの前で試合ができたことに感謝申し上げます。試合については、本当に早稲田大学戦らしい、互いの力と力がぶつかり合うゲームとなり、対戦相手の早稲田大学にも感謝申し上げますと思います。明治大学にとっては、「勝てば 5 年ぶりの対抗戦優勝」という大きなモチベーションがある中での試合でした。スクラムの部分では思った以上に圧力をかけられませんでした。ラインアウトからモールの部分、FW の頑張り、BK の身体を張ったディフェンスといった、シンプルな部分を 80 分間しっかりやり切れたことが、勝利につながったと思います。対抗戦優勝はゴールではないので、今日一日は喜びながらも、明日からは気持ちを切り替え、大学選手権に向けて頑張っていきたいです。

□平翔太選手（商学部 4 年）のコメント

この一週間、チーム全員で準備してきたことを 80 分間しっかり体現できて良かったです。今日の試合は、「勝てば優勝、負ければ 4 位」というプレッシャーがありましたが、今何をすべきかを考え、プランを 80 分間遂行することで、全員が一つになって戦えたと思います。ただ、今回の勝利は通過点に過ぎないので、しっかり切り替え、大学選手権での日本一に向けて頑張っていきます。

MeijiNOW から転載



ラグビー応援観戦
土屋支部長はじめ
多摩支部の皆さん

祝・リーグ戦全勝優勝！ 優勝パレードと祝勝会が開催。



11月26日（水）駿河台キャンパスの象徴・リバティタワー前から歓喜の行進が始まる。応援団による壮大な演奏が響く中、紫紺ナインは爽やかな笑顔で手を振り、ファンの大歓声に応えた。約40分間に及ぶ優勝パレードが終わり、チームはリバティホールにて開催された祝勝会へ。大勢の明大関係者及びファンが、秋季リーグ戦での健闘を盛大に称えた。上野正雄学長のあいさつに始まり、戸塚俊美監督と木本圭一主将（政経4＝桐蔭学園）は今季の戦いを振り返り、関係者全員へのねぎらいを口にした。質問コーナーでは、優勝に貢献した4年生がグラウンドでは見せない素顔を見せたほか、今井英寿外野手（政経4＝松商学園）が一発芸を披露すると、会場は笑いに包まれた。

応援団のスペシャルステージは、『明治大学校歌』で開幕する。『狙い撃ち』や『神風』など、迫力満点のチャンステーマだけではなく、優勝達成時限定の『神宮勝歌』も演奏され、会場のボルテージが最高潮に。最後は観客全体による第一応援歌『紫紺の歌』の大合唱で祝勝会の幕を閉じた。〃チーム木本〃の成しえなかった四冠に向けて、猪軍団は最高のエールを受け取った。

（記事：明スポより）



（写真）
若村和之、江面利和



女性たちの“おしゃべり楽しみ会”へどうぞ

～明治大学校友会多摩支部の女性サロン～

明治大学校友会多摩支部の女性たちで、年3回ほど集って、飲食しながら、最近のニュースの話題や趣味の話など楽しくおしゃべりしたり、お互いの発表会に出かけあったりしています。もうこの10月開催で26回目の開催となりました。

平日のひと時、気晴らしに、気楽にご参加ください、お待ちしております。

参加大歓迎！

◎開催要領

- ・開催日：原則年3回（5月、10月、2月＊変更あり）
- ・場 所：国立駅近くの校友自宅サロン
- ・集 合：JR国立駅南口の旧国立駅舎内 or 校友自宅へ直接でも OK
- ・参加費：3,000 円（飲食代）

◎参加申込・問合せ（開催案内の際に記載いたします）

・申込先：多摩支部組織委員会 女性サロン

メール：tama_josei_group@meiji-tama.sakura.ne.jp



2025 年 10 月 15 日開催

国立地域支部 くになち市民まつりに参加

11月3日（日）国立の大学通りで開催されました。「くになち市民まつり」にラムネの販売で参加しました。

当日は、晴れ・小雨・晴れ・雨・そして曇りと天候がめまぐるしく変化し、販売に苦戦しました。

しかし、国立地域支部をはじめ多摩の各地域支部の皆様から多大なご支援を賜わり午後2時30分頃には、目標のラムネ600本を完売することが出来ました。皆様に心から厚く御礼申し上げます。





(記・写真：若村和之)

小平地域支部 地域貢献行事「花いっぱいプロジェクト」



「ゆりのこ保育園」の園児・先生と
小出支部長はじめ小平地域支部の皆さん

ハッピーとんぼ池（旧小川村役場跡）という小さな公園の花植えを、隣接する「ゆりのこ保育園」の1・2歳児と、園の先生方と一緒に行いました。通常は、小平市の「花と緑と公園課」の方2名と当校友会の5・6名で春と秋に行っています。今年は、孫・ひ孫の様な保育園児と子ども？・孫のような先生方と、一緒に、のんびりと花植えをしました。園の方は、園児7名程度と先生4名でした。

我が年配校友の指導？のもと、パンジーと葉牡丹を老若男女仲良く作業をしました。殆どの子供が、初めての作業で最初の1ポットはスコップに手を添えるだけで、**大人たちが大部分の作業を行いました**が、2ポット・3ポット目になると、自分1人でやるという子も出てきて、**子供の吸収力はすごい**なと思いました。

作業的には1時間ちょっとなので、子供・若い先生とのふれあい・土いじりを楽しみたい方は、**来年度の花植えに是非ご参加ください**。

(記：倉澤 武)

日 秋の多摩の彩り

21 地域支部を知ろう！

写真でスタンプラリー

多摩支部企画委員会主催



花街・黒堀通り



極楽寺にて



八幡八雲神社

11月16日(日)八王子地域支部のご支援で開催され、10地域支部16名(※)のご参加をいただき盛会となりましたことをまずご報告し、ご支援ご参加の皆様へ心から感謝申し上げます。

当日は13時30分にJR八王子駅に集合、八王子地域支部柴田幹事様と前田様の先導で八王子北口から花街・黒堀通りを経て西へ進み成田山傳法院、金剛院、産千代稲荷神社と大久保石見守長安陣屋跡を巡って北上、宝樹寺と閻魔堂を経て、極楽寺においては特別に堂内での拝礼が許されました。その後、甲州街道を東進し八日市宿跡、ユーミン実家の荒井呉服店前を目視確認のち、カトリック八王子教会では礼拝堂に立ち入り、ルルドの泉の解説もいただいてから東進し、八幡八雲神社でお土産の「千松園の芋羊羹」を受け取って、JR八王子駅付近に戻り、16時過ぎに解散しました。

第二部の懇親会は「てんぐ大ホール」に12名のご参加を得て、2時間飲み放題を十分に活用しコスパ良く燃料補給を行って解散しました。

いくつか印象に残った点をご報告します。

① 花街 駅前の繁華街から少し路地に入ると見番(けんぱん=置屋の組合事務所)があり三業組合(料理屋・待合茶屋・芸妓屋)の看板が掛け、今も受け継がれている歴史に関心致しました。さらに柴田様から浅草には明大卒の芸妓「乃り江さん」がおられ交流があり(さすが)、日程と予算次第では宴席に手配可能であるとお話を伺いました。

② 極楽寺 貴重なお話2点を伺い驚きました

1) 極楽寺の建物を建てられたのが大工棟梁だった柴田様のご先祖であること

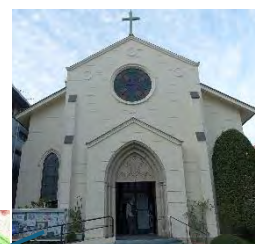
2) 港区にある浄土宗大本山増上寺の今のトップである89世法主はこの極楽寺の住職小澤憲珠師であること

③ 荒井呉服店=ユーミン【松任谷(旧姓:荒井)由美さん】のご実家と教会

そのすぐ裏にカトリック八王子教会があり、1974年シングル「やさしさに包まれたなら」の「小さい頃は神様がいて不思議に夢をかなえてくれた」という歌詞はこの場所に由来する、というお話を伺いました。

(※)10地域支部16名ご参加= 国立2、あきる野2 国分寺1、小金井1、日野3、東久留米1、小平1、武蔵野2、町田1、八王子2

(記:須天俊明、写真:須天俊明、佐々木一郎)



ご案内:
柴田健彦幹事長



晩秋の多摩の彩り

昭和記念公園で語らい散策

多摩支部総務委員会主催

11月22日(土) 10時 秋晴れの中、昭和記念公園西立川入口に事前申し込いただいた方のほか当日ご参加いただいた総勢12名(武蔵野4名、国立3名、小平2名、日野1名、町田1名、青梅1名=男性10名、女性2名)が参集してくれました。なーんと青梅からは、ハワイ在住の女性校友が帰国時のタイミング良くご参加くださいました。

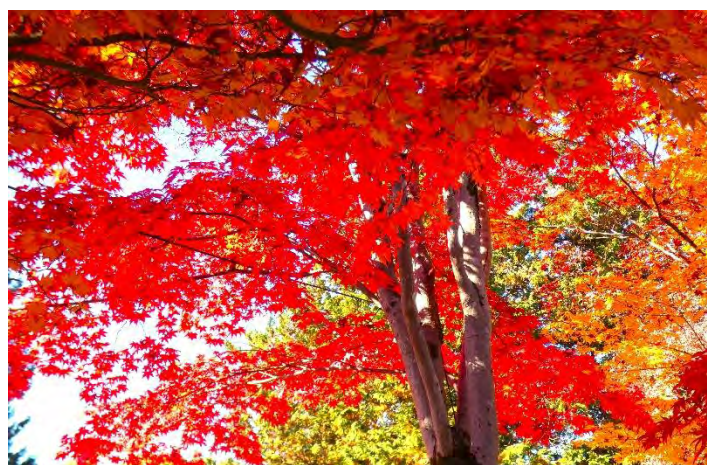
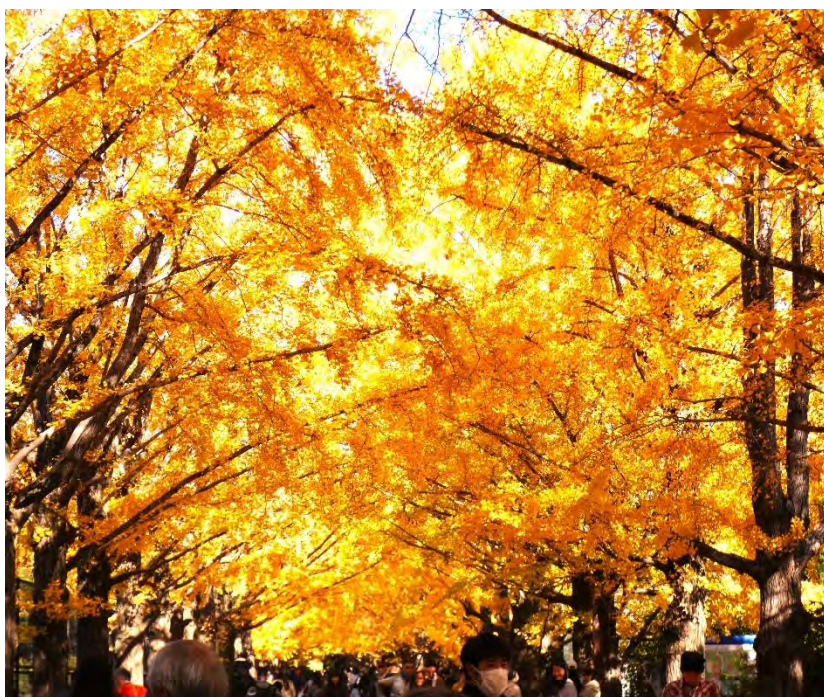
好天に恵まれ、黄金のイチョウ並木や紅葉満開の日本庭園見学などに大勢の来場者がありました。

「イチョウ並木」は、全長300m 視界が埋め尽くされる黄金色のイチョウトンネルで、シーズン1番人気スポットです。「日本庭園」は、池の周りの紅色のカエデ類が松の緑の間に染まり、池に映る茶屋建屋との風情や和傘・風鈴などで心和み、「こもれびの里」では、昔の農家風景が垣間見られる古民家で、縄ないや餅つきなど体験収穫祭が行われ、子ども連れで賑わっていました。

「みんなの原っぱ」に出て解散、西立川口から帰られる方のほかは、原っぱにあるオカカフェ隣の休憩所で持参の昼食をしながらハワイから参加の方と談笑しました。手作りのクッキーを頂戴しました。立川口から帰られた方々は、それぞれ公園玄関に位置する「カナル」のイチョウ並木で水路・噴水など幾何学的な美しさに魅せられ、心豊かにして帰路につきました。

ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。またの「語らい」の機会に多くの校友の皆様と語り合いましょう。

(記：土井 隆夫)



(写真：越智 浩治)

晩秋の多摩の彩り

町田薬師池公園四季彩の杜 薬師池紅葉祭り

町田市にある「町田薬師池公園四季彩の杜」の薬師池で、昨年11月「紅葉まつり」が開催されました。この間、毎日、夜間特別開園として、17:00~20:00の間、池のまわりの紅葉の木々をライトアップしました。風のない夜は、月や木々が池の水面にうつって、うっとりするほどの美しさでした。また、昨年好評だった雲海の演出に、今年は、新たに藤棚にまるで藤の花が咲いたような電飾で、より幻想的な薬師池の姿を楽しむことが出来ました。



晩秋の多摩の彩り

(株) 日立製作所中央研究所 「秋の庭園一般公開」見学会 国分寺地域支部の企画活動

大正時代の国分寺村の主な別荘



国分寺市にある（株）日立製作所中央研究所の庭園が、春と秋の年2回一般公開されますが、その「秋の一般公開」に初めて11月29日（土）、国分寺地域支部の皆さん（6名）で行って来ました。

この庭園は、大正時代、「今村別荘」と言って、所有者の今村繁三は、明治期の鉄道事業者今村清之助の子で、今村銀行の頭取を務めた資産家、その方の別荘でした。現在の（株）日立製作所中央研究所が、この地に、1942年（昭和17年）4月に設立されました。敷地面積は、約22万㎡、東京ドーム約5個分あり、その半分を庭園が占めています。この庭園の見所は、約27,000本の樹木が、春には早春花、桜などが咲き乱れ、秋には、モミジなどの紅葉が楽しめます。また、国分寺崖線（通称「ハケ」という）からの湧水も見ることができ、これが「野川」の源流の一つとなっております。湧水が集まる「大池」には水鳥が、周辺の林では、多くの野鳥（約40種類）を見ることができます。

国分寺地域支部のこの「庭園の一般公開」見学会は、今回が初めての企画活動です。ただ、この公開が、年1回限りの公開で、開演時間も10時から3時と短時間、かつ多くの見学者が押し寄せてくるとのことで、どう対応するか予測し難い状況でした。そのため、集合時間も余裕を持って、JR国分寺駅改札口に集まり、徒歩で現地に向かいました。しかし、意外にも、スムーズに入園でき、また園内に入ると、多くの出店も出ており、それも意外な感じでした。庭園内は、青空の下、モミジやメタセコイヤが見事に紅葉し、「大池」の水面に映る木々の「水鏡」ともいえる風景も見ることが出来、心休まる見学会の一日でした。

終了後、多摩丘陵が一望できる国分寺駅の「セレオ国分寺」9階の中華料理「華琳」で昼食をとり、解散しました。

2026年春、桜が満開の時期に「春の庭園一般公開」があります。今回のトライアルを踏まえ、2026年春にもこの企画を実施したいと思います。

（記・写真：佐々木一郎、参考資料：「国分寺のあゆみ」、（株）日立製作所中央研究所のパンフレット）等）

日立製作所中央研究所 正面玄関前で



十月桜（10月頃から咲き始める）



「福生の餅つき大会」、多摩の年末の風物詩に



来年〈2026年〉も開催します、宜しく

12月14日（日）、寒冷前線の影響で朝から雨の降る中で、福生地域支部恒例の『餅つき大会』が、福生市「志茂二睦会館」で、開催されました。

福生地域支部の『餅つき大会』は、支部結成2年後から始まった歴史のある行事で、昨年度から地域間交流行事として開催されています。

開始時間の10時には、あきる野3名、青梅1名、小平2名、村山2名、昭島2名、日野1名、福生12名の7地域支部総勢23名の方々にお集まり頂き、福生地域支部山田支部長の開会挨拶後「餅つき大会」を開始しました。

ご参加頂いた方々には、交代で杵を振るってもらい、日ごろ体験できない『餅つき』を堪能いただきました。

懇親会は、昨年、屋外で実施しましたが、日陰で大変寒かったため、暖房のきいた室内に会場を設置しました。

準備した料理やお酒、ビール、差し入れ頂いたワイン、各地の銘酒などを賞味しながら、つきたての餅を大根おろしや納豆、きなこ、あんこ等で食し、大いに各地域支部間の交流・懇親を深めました。

懇親会の最後には、江面多摩支部幹事長にご挨拶を頂き、土井総務委員長の締めの後、小出小平地域支部長のリードで校歌を斉唱し、参加者全員に鏡餅をお土産としてお渡ししてお開きとなりました。

福生地域支部としましては、多摩支部の中で唯一の開催となっている『餅つき大会』を『地域間交流行事』として継続的に開催したいと考えております。今後とも宜しくお願いします。



会場の「志茂二睦会館」



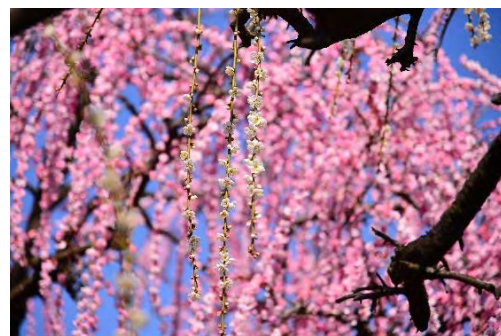
美味しいお餅になあれ



体力勝負ですね

（記：大河内公夫）

清瀬の金山公園から徒歩で 15 分ほどのところに見事な「枝垂れ梅」が咲き誇ります。
一軒の農家さんが丹精込めた「枝垂れ梅」が訪れる人たちの眼を楽しませてくれます。
2 月中旬、ほのかな香りが漂い、春の一日を楽しみました。



明治大学校友会の皆さま及びご家族の皆さま

「世界最大級の大スペクタクル☆木下大サーカス」立川公演を開催する運びとなりました。

校友会の皆さま、ご家族の皆さまにおかれまして、是非、足をお運びいただきたく存じます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

木下サーカス（株）代表取締役社長 木下 唯志（明治大学 経営学部 49 年卒、明治大学校友会 副会長）



世界最大級の大スペクタクル

Kinoshita Circus 123rd Anniversary



木下大サーカス®

夢と勇気と感動の
奇跡のステージ!!

3年ぶり
立川公演

暖房完備

画像はイメージです。

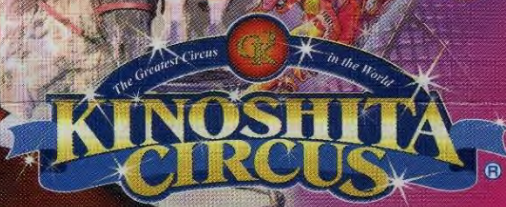
年間100万人動員!!

社会福祉事業協賛

主催 ■ 読売新聞社・日本テレビ・報知新聞社・KINOSHITA CIRCUS

特別パートナー ■ 株式会社立飛ホールディングス

協賛 ■ 森永製菓・スズキ・コカ・コーラボトラーズジャパン・サントリー・山九



'25 11月15日(土) '26 2月23日(祝)

休演日：毎週木曜日と11月19日(水)、12月3日(水)・17日(水)・31日(水)、
1月14日(水)・28日(水)、2月4日(水)。但し1月1日(木・祝)は開演。

立川駅北 立川立飛 特設会場
1600m

(多摩モノレール 玉川上水駅から3駅・立飛駅下車 南、立川北駅から1駅・高松駅下車)

※有料駐車場に限りがありますので、公共交通機関もご利用ください。

「暖房・換気システム完備」

安心な換気会場でお迎えいたします。

一般自由席料金 (左右両サイド) (税込)		指定席料金 (税込)	
区分	料金	区分	料金
おとな	4,000円	リングサイドA席	4,500円
こども (3才～高校生)	2,000円	リングサイドB席	3,000円
大学専門学生	2,500円	リングサイドC席	2,500円
前売券	4,000円	ロイヤルブルー席	2,500円
当日券	4,500円	ロイヤルイエロー席	2,000円
		ロイヤルグリーン席	1,500円

※特別自由席：自由席料金にプラス1,000円にて当日会場でのみ販売しています。

開演時間 (公演は約2時間10分・休憩20分間) ◆雨天開演

区分	10:00	11:00	13:00	14:00	15:50
月・火・土曜日		○		○	
水曜日		○		○	
木曜日		○		○	
金曜日		○		○	
日・祝日		○		○	
※但し11/19、12/3・17・31、1/14・28、2/4は休演					
※但し1/1(木・祝)は開演					

※天候等の影響により休演する場合があります。※11月15日(土)は13:00からと15:50からの2回公演

※特別自由席：自由席料金にプラス1,000円にて当日会場でのみ販売しています。

TEL: 042(506)1224

◆前売指定席券は、各プレイガイドにてお買い求めください。(随時発表あり)

プレイガイド	チケット
ファミリーマート	ファミリーマートでの発売となります
ミニストップ	ミニストップでの発売となります
セブンイレブン	セブンイレブンでの発売となります
ローソン	ローソンでの発売となります
セブンチケッ	セブンチケッでの発売となります
チケットぴあ	チケットぴあでの発売となります
楽天チケット	楽天チケットでの発売となります

※プレイガイドの営業時間内でのみ販売となります。

※プレイガイドの営業時間内でのみ販売となります。

※プレイガイドの営業時間内でのみ販売となります。

※プレイガイドの営業時間内でのみ販売となります。